



平成29年度

学校だより 第10号

高岡市立牧野小学校
平成30年2月21日



寒さに負けず姿勢を正す

校長 笹島久美子

暦の上では立春を過ぎましたが、大雪の日が続きました。保護者、地域の方々には交差点の除雪や通学路の安全確保に力を貸してくださり、心より感謝申し上げます。

さて、まだまだ、寒い日が続きます。朝、ポケットに手を入れて、背中を丸めて登校してくる子供が増えてきました。また、雪国とはいえ、子供たちにとっては、今年のような大雪は初めての経験です。雪道を歩いてくるだけで疲れるのでしょうか。学習中の姿勢の悪さが気になります。

姿勢には、そのときの心のありようが表れます。姿勢と心は深い関係でつながっています。だからこそ、私は、逆に意識的に姿勢をつくることで心もコントロールできていると思っています。あるテレビ番組で興味深い話をしていました。番組では「我が子が宿題をしないで困っている」「一つのことに集中できず、成績が伸びない」と、悩んでいる親たちに、出演者が明快なアドバイスをしていました。それは、「親が子供に行う躰で一番大切なのは、姿勢をよくすることだ」というものでした。

なぜ、集中力が続かないか。それは、集中する姿勢ができていないから。

なぜ、宿題ができないのか。それは、きちんと宿題をやろうとする姿勢ができていないから。

正しい姿勢で授業を受ければ、集中力が高まり、学習効果も上がります。正しい姿勢で食事をとれば、消化がよくなるだけでなく、食事を作ってくれた人や食事ができること自体への感謝の気持ちも生まれます。意識的に姿勢をつくることで、心はコントロールできるのです。

朝、ポケットに手を突っ込んで登校してくる子供を見かけると注意をしていますが、転んだときに危険だからという理由だけではありません。それは、寒さに立ち向かおうとする気持ちをさらに萎縮させてしまう姿勢だからです。子供たちには、ポケットに手を突っ込んで背中を丸め、北風から顔を背けるのではなく、堂々と胸を張り、凜として北風に立ち向かってほしいと思います。

躰(しつけ)

「しつけ」というと厳しい響きになって聞こえますが、漢字で書くと、「身を美しくする(見せる)」と書きます。

姿勢、挨拶、箸の持ち方、鉛筆の持ち方等、子供たちには美しい所作を身に付けさせていかなければなりません。

学校では、牧野校下食生活改善推進委員会から頂いたランチマットを使って、越前栄養職員が「正しい食器の置き方と箸の持ち方」の指導を行いました。そして、正しい箸の持ち方で「豆つまみ大会」を行いました。小さい豆に悪戦苦闘する子供たちでしたが、「正しく箸を持とう」という意識を高めることができました。





校内わくわく活動

2 / 16 (金)

1年～6年のなかよし班で対戦ゲームをしたり、クイズを解いたりして、交流を深めました。

学年クイズ



王様ジャンケン



ミイラ人間ゲーム



オセロゲーム



あっちむいてホイ!



新聞穴くぐり



この他にも「テーブルホッケー」「わりばしおとし」「シュートゲーム」「ボーリング」「つまんでひっこし」「黄金キーワード」等、全部で12種類のゲームを楽しみました。